

あとがき

今年平成 25 年、東京医科大学看護専門学校は、4 月に入学した 50 回生をもって学生募集を停止し、50 回生が卒業する平成 28 年 3 月でその歴史に幕をおろすこととなりました。看護専門学校は、過去に二十周年記念、三十周年記念の行事を経験してきましたが、これまでと違う点は、これが最後の大きな記念行事になるということです。

口絵の『日月』（元専任教員・元別科教務主任川口よね子先生による）の書は、東京医科大学看護専門学校で学んだ私達にとって、その 50 年の歴史、月日の流れを思い起こさせ、何かを語りかけてくるかの様に感じます。

最後の節目に発刊する記念誌となりますので、ここには昭和 39 年に学校が誕生した時から 50 年間の資料や様々な思い出を写真とともに文章として残すことで、看護科(本科)・別科・進学科の同窓生、並びに歴任教職員の皆様、関係ある多くの方々とその歴史の重みを共有したいと思いました。

大学・病院関係者の皆様・歴任教職員の皆様からは思い出やお祝いの言葉を頂戴し、同窓生からは、全学年の代表者の方達から執筆のご協力を頂きましたこと、編集委員一同心から感謝申し上げます。執筆頂いた内容はバラエティに富み、お届け頂いた原稿を興味深く拝見しながら編集作業を行いました。尚、編集委員のメンバーで校正を何度も行いましたが、不備がございましたらどうかご容赦下さい。

また、カリキュラムの変遷や同窓会、入試、国試、図書室、寮生活、自治会・科目外活動、ユニフォームのことなど、これまでの記念誌で掲載されなかった内容に当たっては、学内に残されていた資料を参考にするのは基より、看護専門学校草創期の時代からをご存じの諸先生方にお話を伺うことができました。草創期には特に教育課程の作成、臨地実習の開発に苦勞なされたこと、ユニフォームの誕生や校章バッジの始まりなど、貴重なお話や楽しい出来事を数々伺うことができ初耳の発見もありました。

写真については、できるだけ 50 年間における様々な時代の写真を掲載し、思い出を蘇らせたいと思いました。歴代の諸先生方が残して下さっていた多くの写真や卒業生が残していった卒業アルバムを元に選択致しました。写真をスキャンして取り込むこと数か月。原稿のご依頼と調整など思っていたよりもその作業には時間を要しましたが、ご協力頂いた皆様の力を借りて、徐々に記念誌の内容が充実していったと思います。写真については、執筆をご依頼した皆様には写真掲載の許可をお一人ずつ確認し、了解を頂きましたが、その他のページ(実習ユニフォームや科目外活動のページなど)に掲載された写真につきましては、お一人お一人に了解を得ることは困難を極めました。その方々にはこの場をお借りし、掲載のご了承を願えれば幸いです。

それから、本校の前身として、東京医科大学病院附属准看護婦学校が昭和 32 年から第 7 回生までを社会に送り出していたことも、記録に残しておきたいと思いました。准看護婦学校時代の写真も殆どの回生のものが、看護専門学校に残っておりませんでした。記念誌の第 13 章に写真を抜粋し掲載してあります。式典、実習、運動会の写真など当時の学校生活を偲ばせるものやバイタリティを感じる運動会などの写真に感動しました。東京医科大学附属高等看護学校は、准看護婦学校に続いて開設された学校です。そのカリキュラム等の作成は、准看護婦学校時代の先生方が検討・整備され、諸

手続きに時間を費やされて開設されたと改めて思うことができました。

また、第 12 章には東京医科大学、病院、看護専門学校校舎等の歴史を掲載しましたが、それは、東京医科大学図書館の方に了解を得て、平成 8 年に発刊された『東京医科大学八十年史』の内容も一部引用させて頂きました。その歴史を見ますと、准看護婦学校の開設よりもっと以前の昭和 21 年 5 月に「大久保キャンパス内(現大学構内)に東京女子保健学院が開設された」とありました。それは、東京医学専門学校が東京医科大学として認可された年と同年の開設になります。学院長は当時の医学部学長先生が兼任されたとのことです。その東京女子保健学院は昭和 26 年には閉鎖されておりますが、もし、その時に閉鎖されず存続していたならば、東京医科大学における看護教育はもっと早期に大学化を迎えていたのでしょうか…。或いは、専門学校として 67 年目を今年迎えていたのでしょうか…。残念ながら、東京女子保健学院は短い命で幕を閉じ、准看護婦学校の開設までに空白期間もあり、その歴史について調べることはできませんでした。

今回この記念誌は、住所の判明している同窓生の皆様全員に届けられることになっております。それについては大学本部の皆様方のご理解、ご協力があつて実現しました。嬉しい限りです。改めましてここに深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、東京医科大学看護専門学校が終わりを迎えようとしている寂しさを感じながらも、今年度医学部看護学科が開設されて、89 名の第 1 回生が入学したという新たな出発をお祝いしたいと思います。今後は 4 年制の看護学科として益々学生達の教育環境が充実し、質の高い看護教育が行われていくことを願っております。

平成 25 年 10 月吉日
編集委員 石塚 睦子